

「大きくなって戻ってきてね！」 年長児が サクラマス稚魚の放流式



五月九日、子どもたちに魚や河川に親しんでもらおうと、荒川漁業協同組合（中倉虎治組合長）主催の「サクラマスの稚魚放流式」が、荒川水辺プラザで行われました。

放流式には、村内保育園の年長児三十九人が参加。この日準備された稚魚は約二万匹で、子どもたちは稚魚が入れられたバケツを持って放流を体験しました。

「でっかいー」「これかわいいー！」「あちこちから子どもたちのはしゃぐ声が聞こえてき

ました。自分の放流した稚魚の行方を目で追い、見えなくなつては、稚魚の入ったバケツを取りに行き何度も放流を繰り返しました。

佐藤杏珠さん（下関保育園・松平）は、「魚がたくさんいてすごく楽しかった。またやってみたい。大きくなったら、この川に戻ってきてほしい」と感想を話していました。

サクラマスの稚魚がこれからどんどん大きくなるように、年長児の子どもたちも、大きく成長してほしいと思います。

「めきぐめるな！ゴールを目指して突っ走れ」

関川小学校大運動会

（9ページにも関連記事）

五月二十一日、関川小学校で開校後二回目となる大運動会が開催されました。待望のグラウンド完成後、初めての運動会を迎えましたが、この日は朝からあいにくの雨模様。急きよ会場を関川小体育館に変更して行われました。

開会式後には、赤組・白組

に分かれて白熱した応援合戦が繰り上げられ、運動会を盛り上げました。

雨の影響でリレーなどいくつかの種目は行われなかったものの、騎馬戦や興味走など子どもたちの白熱した様子に熱い声援が響き渡り、会場内は熱気に包まれました。

また、地域のボランティアの皆さんが荒川峡音頭」では、全校児童の他に、踊りを指導してくれたボランティアの皆さんや保護者の皆さんと一緒に踊りを楽しみ、一体感溢れる運動会となりました。

競技終了後にはエール交換が行われ、お互いの健闘をたたえ合い、子どもたちの表情は充実感で



熱戦が繰り上げられた「騎馬戦」

いっぱいになりました。

赤組応援団長を務めた須貝海心さん（六年・高田）は、「すごく緊張したけど、目標だった応援賞がとれて嬉しいです」と、また白組応援団長を務めた伊藤優哉さん（六年・下関）は、「競技の部で優勝できて嬉しい。団長として一番声を出して頑張りました」とそれぞれ感想を話していました。



精一杯の声を出して応援合戦を繰り上げました

霧出地区「地域の茶の間」 子どもたちとの交流会

四月二十一日、関川小二年生の児童四十四人が、霧出地区地域の茶の間を訪問し、お年寄りの皆さんと交流を深めました。

子どもたちが、元氣いっぱいの歌声を披露すれば、お年寄りの皆さんは昔話や紙芝居を披露。笑顔と元氣あふれるあつという間の二時間でした。

旧土沢小学校の頃、霧出地



区では、月に一度開催される地域の茶の間で子どもたちと交流会を行っていましたが、閉校後は月一回の子どもたちとの交流も途絶え、地域の茶の間の皆さんはとても寂しい想いをしていました。

子どもたちと触れ合うことで、少しでもお年寄りが元気になるならと、このたび関川小学校児童との交流が実現

交流会に参加した関川

小の鈴木陽理さん（下関）

は「昔話や紙芝居を聞かせてもらったり、肩もみをしたり、すごく楽しかったです」とお年寄りとの交流を喜んでいました。

また、地域の茶の間の大沼鈴子さん（上土沢）は「子どもたちの元氣あふれる姿を見ることが出来て自分自身、元氣をもらいました。また、遊びに来てほしい」と子どもたちとの再会を楽しみにしていました。



下関駅前通りを 花でいっぱい

5月24日、村商工会青年部（渡辺真一郎部長）と女性部（佐藤秀子部長）の共催で「花いっぱい運動」が行われました。

当日は、青年部と女性部員のほか、下関保育園の年長児など約40人が参加。園児たちは、白やピンク、紫のトレニア180株を60個のプランターに植え、移植後は下関駅前通りの商店などに「大事に育ててください」と寄贈しました。

花植えに参加した下村優李亜さん（小見）は「花植えは楽しかったです。自分の植えたお花を大事に育ててほしい」と話していました。

わらびとり宿泊パック

温泉&ワラビとりを満喫

村温泉旅館組合と村観光協会主催の「わらびとり宿泊パック」が、五月二十二日に大石集落のわらび畑で開催されました。

えちごせきかわ温泉郷の泊二食とわらびとり、山菜弁当がセットになったお得なパックには、新潟市や燕市、新発田市などから約五十人が参加。雨の降る中、参加者は辺り一面に伸びているわらびを慣れた手つきで次々と収穫。

新発田市から友人十人と参加した白勢トヨ子さんは「わらびとりパックには初回から参加しています。最初は三、四人で来ていましたが、今では口コミで広がり十人のグループになりました。温泉に入られて、わらびがとれて最高です」と大量のわらびを手に喜んでいました。

わらびとりの後は、のくむで村生活改善研究会の皆さんが作ったたけのこご飯やぜんまいの煮しめなどで昼食を満喫しました。